

【平成 12 年 1 月から平成 29 年 7 月に外科、肝胆膵外科にて肝内胆管癌の手術を受けた患者さん、及びご家族の皆さんへ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

肝内胆管癌^{*1}における癌関連線維芽細胞^{*2}と癌細胞の増殖・浸潤^{*3}の関連性に関する多施設共同研究

- *1:肝内胆管癌(かんないたんかんがん)とは、肝癌の一種で、肝臓から発生する癌のことです。
- *2:癌関連線維芽細胞(がんかんれんせんいがさいぼう)とは、身体の中の細胞の一種ですが、癌の間質という細胞に含まれるこの繊維芽細胞は、癌細胞を増加させる働きがあります。
- *3:増殖・浸潤(ぞうしょく・しんじゅん)とは、癌細胞が増えて周辺の臓器に広がっていくことです。

【研究背景・目的】

肝内胆管癌は悪性度が強く治ることが難しい癌であり、効果のある抗がん剤の治療も限られています。肝内胆管癌の原因や転移については、まだ不明な点が多く、治療の効果を上げるために、新しい治療に結びつく発病に関する解明が必要とされています。

この研究は、患者さんの手術時に摘出された肝臓の組織から採取した癌の一部、および癌ではない部分の組織を使用して癌の転移・浸潤や遺伝子と癌細胞との関連を検証します。また、この研究は、熊本大学大学院生命科学研究部消化器外科学分野を主な研究責任施設として、飯塚病院、熊本地域医療センター等 10 カ所の施設が共同して研究を行います。

【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、平成 29 年 9 月 26 日から平成 31 年 3 月 31 日まで
- ・対象：平成 12 年 1 月 1 日から平成 29 年 7 月 13 日までに当院外科、肝胆膵外科にて肝内胆管癌のため手術を受けた患者さん

- ・取得情報、および他施設へ提供する情報：
 - A) 症例基本情報：手術時年齢(歳代)、性別、生年月、症例識別番号、身長、体重。
 - B) 原発巣手術情報：術前・術後補助療法の有無、WBC、Neut、Lymph、Alb、T-bil、PT、ICG、AST、ALT、CRP、CEA、CA19-9、最大腫瘍径、腫瘍個数、リンパ節転移の有無、手術日、手術術式、手術時間、出血量、輸血の有無、合併症の有無、病理学的診断結果。
 - C) 治療経過：無再発生存期間、再発形式、全生存期間。
 - D) 試料：癌部および非癌部の未染プレパラート（またはホルマリン固定パラフィン包埋ブロック）、手術標本（癌部および非癌部から採取した肝組織切片）

【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出や他の研究施設への情報提供を望まない申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承ください。

【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20 円＋消費税

【研究組織】

<飯塚病院>

- ・研究責任者：飯塚病院 統括外科部長 梶山 潔
- ・共同研究者：飯塚病院 肝胆膵外科部長 皆川 亮介

<共同研究施設における研究組織>

- ・主管施設名：熊本大学大学院生命科学研究部消化器外科学分野
- ・研究責任者：熊本大学大学院生命科学研究部消化器外科学分野

教授 馬場 秀夫

- ・この研究についての情報公開先(その他の共同研究施設)：熊本大学大学院生命科学研究部 消化器外科学のホームページ

http://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/shoukakigeka/disclosure/pdf/disclosure_62.pdf

【問い合わせ先】

飯塚病院 肝胆膵外科 皆川 亮介

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83

TEL : 0948-22-3800 (代表)